

日本分析化学会第73年会

【日本分析化学会第73年会】

<https://conference.jsac.jp/73nenkai/>

【日本分析化学会第73年会講演申込スケジュール】

- ・講演申込締切：2024年6月5日（水）（厳守）
- ・講演要旨締切：2024年7月3日（水）（厳守）

第396回液体クロマトグラフィー研究懇談会

主催 （公社）日本分析化学会液体クロマトグラフィー（LC）研究懇談会

後援 （公社）日本薬学会（申請中）、（公社）日本化学会、（公社）日本農芸化学会、（公社）日本分析化学会

LC分析を行ううえで移動相や試料の前処理に有機溶媒の使用が必須となっていますが、作業者の吸入暴露や廃液による環境負荷などのリスクが潜在しています。

さらに、2023年4月からは労働安全衛生法の化学物質の規制が『法令準拠型』から『自律管理型』の制度に見直され、有機溶媒削減のニーズはより高まっています。

本例会では、有機溶媒削減のための取り組みやノウハウ、アイデアについて紹介していただきます。

期日 2024年6月26日（水）13.00～16.40

会場 ㈱日立ハイテクサイエンス サイエンスソリューションラボ東京〔東京都中央区新富2-15-5 RBM築地ビル、交通：東京メトロ有楽町線「新富町」駅より徒歩1分（5番出口利用）、東京メトロ日比谷線「築地」駅より徒歩4分（4番出口利用）、JR京葉線、東京メトロ日比谷線「八丁堀」駅より徒歩8分（A3出口利用）〕

<https://www.google.com/maps/search/?api=1&query=35.671216%2C139.775152>

講演主題 LC分析におけるESG

講演

講演主題概説（オーガナイザー）（13.00～13.05）

（花王㈱）奥田愛未
（LC分析士初段）

1. ESG概論（13.05～13.25）

（花王㈱）奥田愛未
（LC分析士初段）

2. 固相抽出におけるダウンサイジング、溶媒削減における注意点（13.25～14.00）

（ジエールサイエンス㈱）太田茂徳
（LC分析士初段）

3. HPLCのSFC化におけるワークフローの検討

（14.00～14.35）

（日本分光㈱）寺田明孝
（LC分析士三段、LC/MS分析士二段、IC分析士初段）

休憩（14.35～14.55）

4. 分取LC/SFCにおける省溶媒化について（14.55～15.30）

（㈱島津製作所）寺田英敏
（LC分析士二段）

5. ミセル液体クロマトグラフィーの概要と化粧品分析への応用例（15.30～16.05）

（花王㈱）佐藤晃司
（LC/MS分析士初段受験予定）

6. 総括「LC分析とESG」（16.05～16.40）

（東京理科大学）中村 洋
（LCマイスター、LC/MSマイスター）

参加費

① LC研究懇談会・個人会員、学生：1,000円

② LC研究懇談会・団体会員：2,000円

③ 後援学会・個人会員：3,000円

④ 後援学会・団体会員：4,000円

⑤ その他：5,000円

参加申込締切後の受付はできませんので、ご了承ください。

情報交換会 講演終了後、講師を囲んで情報交換会を開催します（会費5,000円）。参加申込締切後のご参加はできませんので、ご了承ください。

申込締切日 2024年6月19日（水）（入金締切時刻：15時まで）

申込方法

- 参加希望者は、下記申込先にアクセスし、氏名、勤務先（電話番号）、LC研究懇談会・個人会員、協賛学会・個人会員、その他の別および情報交換会参加の有無を明記のうえ、お申込みください。なお、参加者名と振込者名が違う場合は、参加申込書の連絡事項欄に振込者名を明記してください。
- お申込みが完了した場合には、登録されたアドレス欄に「第396回液体クロマトグラフィー研究懇談会申込み受付（自動返信）」のメールが届きます。メールが届かない場合は、①入力したご自分のアドレスに間違いがないか、②迷惑メールフォルダーをご確認のうえ、世話人までお問い合わせください。
- 申込み受付のメールを受領後、必ず期限内に研究懇談会参加費、情報交換会費の納入を行ってください。期限内に納入が確認できない場合、お申込みを無効とし参加URLを発行しませんので、十分ご注意ください。当日払いは受け付けません。なお、いったん納入された参加費は、返金いたしません。
- 参加費の納入が確認できた方には、2024年6月20日以降に要旨集をメールにてお送りいたします。必要に応じてプリントアウトしてご参加ください。なお、請求書の発行はいたしておりません。

液体クロマトグラフィー研究懇談会（例会）参加費送金時のご注意 例会参加費、情報交換会費を送金される場合、下記を禁止しておりますので、ご理解のほどよろしく願いいたします。

- 複数例会の参加費の同時振込（→例会ごとに振り込んでください）
- 複数参加者の参加費の同時振込（→参加者ごとに振り込んでください）
- 年会費や他の費用との合算振込（→費目ごとに振り込んでください）

申込先 <https://forms.gle/N3VpMqT3uRHe2WrYA>

（学生申込者は、所属欄に大学名、学部、学年を記載）

銀行送金先 りそな銀行五反田支店（普通）1754341、口座名義：シヤ）ニホンブンセキカガクカイ〔公益社団法人日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会〕

問合先 （公社）日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会 世話人 花王㈱ 奥田愛未
〔E-mail：okuda.narumi@kao.com〕

2024年度「ぶんせき講習会」（基礎編その2）

「化学分析の基礎講座～実験用ガラス器具、マイクロピペット、電子天びん、およびpHメーターの原理と使い方～」

主催 （公社）日本分析化学会近畿支部、近畿分析技術研究懇談会

協賛 （公社）化学工学会関西支部、（一社）近畿化学協会、（公社）日本化学会近畿支部、（公社）有機合成化学協会

お知らせ

関西支部、(公社)高分子学会関西支部、(一社)日本鉄鋼協会関西支部、(公社)日本金属学会関西支部関西分析研究会

化学分析のみならず、合成・物性測定など化学実験や培養などのバイオ実験を行ううえで、試薬の秤量や調合は実験の質を左右する重要なファクターになります。最近では機器のデジタル表示やパソコンの普及により、これらの操作における測定値は容易に得られるようになりましたが、正しい値や信頼性のある値を得るためには、実験器具の適切な使い方や、機器の正しい校正法や操作方法を理解・修得することが必要です。そこで、本講習会では、主に初心者(研究室配属直後の学生や新入社員)や基礎から学びなおしたい人を対象に、化学実験の基礎となる秤量・調合・溶液調製をより適切に行えるための講義と実習を企画しました。

ピペット・メスフラスコなどの実験用ガラス器具、マイクロピペット、電子天びんおよびpHメーターの基本操作を原理も含めて習得できます。

期日 2024年7月3日(水) 9.50~16.50(受付9.30~)

会場 (株)島津製作所関西支社〔大阪市北区梅田1-13-1 大阪梅田ツインタワーズ・サウス24階、電話:06-4797-7200、交通:阪急「大阪梅田」駅より徒歩7分、阪神「大阪梅田」駅より徒歩1分、大阪メトロ御堂筋線「梅田」駅より徒歩1分、大阪メトロ四つ橋線「西梅田」駅より徒歩3分、大阪メトロ谷町線「東梅田」駅より徒歩2分、JR「大阪」駅より徒歩3分、JR「北新地」駅より徒歩4分〕

<https://www.shimadzu.co.jp/aboutus/company/access/kansai.html>

講習内容 実験用ガラス器具、マイクロピペット、電子天びん、およびpHメーターの原理と使い方

対象者 学生や新入社員および基礎から学びなおしたい方

講習プログラム

0. はじめに(9.50~10.00)

(原子力機構) 下条晃司郎

1. 講義「実験用ガラス器具の原理と取扱い方」

(10.00~10.30)

(神戸大院海事) 堀田弘樹

- ・ガラス製体積計(測容器)の取扱い~受用、出用各器具の取扱い~
- ・標準溶液の調製

2. 「マイクロピペットの取扱い方と管理方法(実習付き)」

(10.40~11.40)

(エー・アンド・デイ) 羽生 智

- ・マイクロピペットの規格、構造、選択、基本的な操作方法、維持管理
- ・精度よく分注するために~揮発性のある液体、粘性のある液体の分注方法~
- ・電動ピペット操作方法~通常分注と連続分注~

3. 「電子天びんの原理と取扱い方(実習付き)」

(13.00~14.50)

(島津製作所) 本田弘毅

- ・電子天びんの据付、感度調整
- ・天びんの環境や測定目的に応じた使い方
- ・天びんの点検方法
- ・応用測定
- ・天びんの取扱い

4. 「pHメーターの原理と取扱い方(実習付き)」

(15.00~16.50)

(堀場アドバンスドテクノ) 桑本恵子

- ・pHとは
- ・pHを測るには
- ・電極のメンテナンス方法
- ・サンプルに適したpH電極の選び方

*参加者には事前に電子メールにてPDF資料を送付します。

*当日はテキストの配布は行いませんので、各自でPDFを印刷しての持参、あるいはタブレット等での準備をお願いします。

*主催者側で昼食を用意します。

参加費 主催・協賛団体所属会員7,000円、学生4,000円、会員外11,000円

申込締切 2024年6月26日(水)

定員 20名。お申込受付は先着順とし、定員になり次第、締め切ります。6月27日以降のキャンセルは不可。

申込方法 参加を希望される方は、近畿支部HP(<http://www.bunkin.org/>)から本講習会のページに入ってください、【参加申込フォーム】にてWebからお申し込みください。

*お申込み後、自動返信メールが届きましたら、開催日までに参加費のお支払いをお願いいたします。参加費は銀行口座(りそな銀行御堂筋支店、普通預金、No.2340726、名義:公益社団法人日本分析化学会近畿支部)にお振り込みください。

*参加証と会場案内図・テキストダウンロード情報などをメールにて送付します。当日、この参加証を持参して下さい。

*コロナウイルス、インフルエンザなどの感染状況により延期または中止する可能性があります。変更などの詳細は、近畿支部HPにてご確認ください。

申込先 〒550-0004 大阪市西区鞠本町1-8-4 大阪科学技術センター6階 (公社)日本分析化学会近畿支部〔電話:06-6441-5531, FAX:06-6443-6685, E-mail:mail@bunkin.org, 近畿支部HP:<http://www.bunkin.org/>〕

問合先 下条晃司郎(原子力機構)

[E-mail:shimojo.kojiro@jaea.go.jp]

北陸地区講演会

主催 日本分析化学会中部支部

期日 2024年7月12日(金) 14.00~16.40

会場 福井大学文京総合研究棟1 2階総合大2講義室(仮)〔福井県福井市文京3-9-1、交通:JR「福井」駅東口えちぜん鉄道「福井」駅から、三国芦原線「三国港行き」に乗り、「福大前西福井」駅下車(所要時間10分程度)〕

講演

- 環境分析科学—社会貢献を模索して—
(富山大学理学部自然環境科学科) 倉光英樹
- 電気化学的に生成するラジカルイオンの反応性の応用—電気化学発光と表面処理を中心に—
(福井大学工学部応用物理学科) 石松亮一
- 電気化学反応における電極表面局所pH測定法
(京都大学大学院工学研究科物質エネルギー化学専攻) 横山悠子

参加費 無料

意見交換会等 講演終了後福井駅周辺で行います。詳細(会場、会費等)につきましてはお問い合わせください。参加希望者は6月21日(金)までにE-mailにて下記へお申し込みください。なお、件名に「講演会」または「意見交換会」を入れてください。担当者:福井県立大学 植松宏平
[E-mail:kuematsu@fpu.ac.jp]

講演問合先 〒910-8507 福井県福井市文京3-9-1 福井大学工学部応用物理学科 石松亮一

[電話:0776-27-8753, E-mail:ishima2@u-fukui.ac.jp]

2024年度第2回近畿支部講演会

主催 (公社)日本分析化学会近畿支部・近畿分析技術研究懇話会

期日 2024年7月19日(金) 15.00~17.00

会場 大阪科学技術センター7階700号室〔大阪市西区鞆本町1-8-4、電話:06-6443-5324、交通:地下鉄四つ橋線「本町」駅下車、北へ徒歩約7分。うつほ公園北詰〕

講演

1. ライフサイエンス分野におけるイメージング技術の進展 (15.00~16.00)

(株東レリサーチセンター) 松田和夫

2. 「あんなことをしてたら、こうなる」~自戒をこめて~ (16.00~17.00)

(京都府立大学) 細矢 憲

参加費 無料

参加申込 標記行事名を題記し、(1)氏名、(2)勤務先(所属)、(3)連絡先を記入のうえ、下記申込先へFAXまたはE-mailにてお申し込みください。なお、参加証は発行いたしませんので、当日は直接会場にお越しください。

申込先 〒550-0004 大阪市西区鞆本町1-8-4 (公社)日本分析化学会近畿支部〔電話:06-6441-5531、FAX:06-6443-6685、E-mail:mail@bunkin.org〕

※詳細は、近畿支部ホームページ (<http://www.bunkin.org/>)にてご確認ください。

第400回記念液体クロマトグラフィー研究懇談会

主催 (公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー(LC)研究懇談会

後援 (公社)日本薬学会(申請中)、(公社)日本化学会、(公社)日本農芸化学会、(公社)日本分析化学会、LCシニアクラブ

液体クロマトグラフィー(LC)研究懇談会は1974年に創設され、今年の12月3日に50周年記念祝賀会を開催します。この間、本会は最新の技術情報を発信・紹介することにより、日本におけるHPLCとLC/MSの発展と普及に尽くしてまいりました。振り返りますと、1994年に第100回例会、2006年に第200回例会、2016年に第300回例会をそれぞれ開催し、本日第400回例会を迎えます。この50年間における科学技術の進歩のスピードは文字どおり日進月歩であり、HPLC、LC/MSとその周辺の進歩についても例外ではありません。そこで、節目となる今回の例会でわが国におけるHPLCの発展の道筋をたどるとともに、HPLC分析のコア技術の最前線を紹介し、さらなる発展のための指針にしたいと希望します。また、午前中にはLC研究懇談会の将来を担う若手・中堅役員の抱負を伺い、参加者が抱える疑問・質問等にお答えする相談会も例会に先立って開催しますので、奮ってご参加ください。なお、参加者には本例会の講演要旨類をも掲載した「LC研究懇談会第400回記念誌」を贈呈します。

期日 2024年10月23日(水) 9.00~17.00

会場 機械振興会館・研修-1会議室(定員120名、B3階)〔東京都港区芝公園3-5-8、電話:03-3434-8211(代表)、交通:①東京メトロ日比谷線「神谷町」駅下車、徒歩8分、②都営地下鉄三田線「御成門」駅下車、徒歩8分、③都営地下鉄大江戸線「赤羽橋」駅下車、徒歩10分、④都営地下鉄浅草線・大江戸線「大門」駅下車、徒歩10分、⑤JR山手線・京浜東北線「浜松町」駅下車、徒歩15分〕

第1部 若手・中堅、物申す(9.00~10.30)

パネリスト: 太田茂徳(ジーエルサイエンス)、奥田愛未

(花王)、橘田規(日本食品検査)、坂牧寛(CERI)、島崎裕紀(日本ウォーターズ)、寺田英敏(島津製作所)

第2部 何でも相談会(10.30~12.00)

①超純水:石井直恵(メルク)、②標準物質:川口研(産総研)、③逆相:坂牧寛(CERI)、④サイズ排除:伊藤誠治(東ソー)、⑤キラル分離:西岡亮太(LCシニアクラブ)、⑥分取・精製:寺田明孝(日本分光)、⑦LC/MS:高橋豊(エムエスソリューションズ)、⑧LC-ICP:市川進矢(フジクラ)、⑨検出器:清水克敏(日立ハイテクサイエンス)、⑩食品分析:神山和夫(ハウス食品グループ本社)、⑪前処理器材:島崎裕紀(日本ウォーターズ)、⑫DART-MS:山本敏人(日本電子)、⑬その他何でも:寺田英敏(島津製作所)

休憩(12.00~12.45)

第3部 講演会「HPLCとLC/MS~日本の実力と将来」(12.45~17.00)

1. 講演主題概説(オーガナイザー)

(12.45~12.50)

(東京理科大学) 中村 洋

(LCマイスター、LC/MSマイスター)

2. 斯界の発展にLC研究懇談会が果たした役割

(12.50~13.20)

(東京理科大学) 中村 洋

(LCマイスター、LC/MSマイスター)

3. HPLC、LC/MSにおける試料前処理技術の進歩と最前線

(13.20~13.50)

((一社)臨床検査基準測定機構) 岡橋美貴子

(LC分析士三段)

4. HPLC、UHPLCにおける分離技術の進歩と最前線

(13.50~14.20)

(LCシニアクラブ) 熊谷浩樹

(LC分析士四段、LC/MS分析士二段)

5. キラル分離技術の進歩と最前線(14.20~14.50)

(LCシニアクラブ) 西岡亮太

(LC分析士四段)

休憩(14.50~15.00)

6. HPLC、UHPLCにおける検出技術の進歩と最前線

(15.00~15.30)

(株島津総合サービス) 三上博久

(LCマイスター)

7. MS、M/MSにおける技術の進歩と最前線

(15.30~16.00)

(エムエス・ソリューションズ株) 高橋 豊

(LC分析士二段、LC/MS分析士五段)

8. LC/MSにおける進歩と最前線

(16.00~16.30)

(株東レリサーチセンター) 竹澤正明

(LC/MSマイスター)

9. PFAS分析の進歩と最前線

(16.30~17.00)

(栗田工業株) 榎本幹司

(LC分析士三段、LC/MS分析士三段)

第4部 情報交換会(17.30~19.30)

情報交換会では、本研究懇談会の発展と運営に尽力された方々を特別表彰し、感謝の意を表したいと思います。

第1部~第3部参加費 ①LC研究懇談会・個人会員、学生:2,000円、②LC研究懇談会・団体会員:3,000円、③後援学会・個人会員:4,000円、④後援学会・団体会員:5,000円、その他:6,000円。参加申込締切後の受付はできませんので、ご了承ください。

第4部参加費 講演終了後、近隣の店で講師を囲み情報交換会を開催します(会費5,000円)。参加申込締切後のご参加はできませんので、ご了承ください。

申込締切日 10月15日(火)(入金締切時刻:15時まで)

申込方法（対面方式のみ、Web参加はありません）

1. 参加希望者は、下記申込先にアクセスし、氏名、勤務先（電話番号）、LC会員：協賛学会会員・その他の別および情報交換会参加の有無を明記のうえ、お申込みください。なお、参加者名と振込者名が違う場合は、参加申込書の連絡事項欄に振込者名を明記してください。
2. お申込みが完了した場合には、登録されたアドレス欄に「第400回液体クロマトグラフィー研究懇談会申込み受付（自動返信）」のメールが届きます。メールが届かない場合は、①入力したご自分のアドレスに間違いがないか、②迷惑メールフォルダーをご確認のうえ、世話人までお問い合わせください。
3. 申込受付メールを受領後、必ず期限内に参加費の納入を行ってください。期限内に参加費納入が確認できない場合、参加申込みを無効としますので、十分ご注意ください。なお、いったん納入された参加費は、返金いたしません。なお、請求書の発行はいたしておりません。

液体クロマトグラフィー研究懇談会（例会）参加費送金時のご注意

例会参加費、情報交換会費を送金される場合、下記を禁止しておりますので、ご理解のほど宜しくお願い致します。

1. 複数例会の参加費の同時振込
（→例会ごとに振り込んでください）
2. 複数参加者の参加費の同時振込
（→参加者ごとに振り込んでください）
3. 年会費や他の費用との合算振込
（→費目ごとに振り込んでください）

申込先 <https://forms.gle/azcWv52JqhNjpru7>

（学生申込者は、所属欄に大学名、学部、学年を記載）

銀行送金先 りそな銀行五反田支店（普通）1754341、口座名義：シヤ）ニホンブンセキカガクカイ〔公益社団法人日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会〕

問合先（公社）日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会 世話人 東京理科大学 中村 洋
〔E-mail：nakamura@jsac.or.jp〕

2. 高分子分析研究懇談会ホームページからお申し込みください。ホームページからの申し込みができない場合には、下記に問い合わせてください。
3. 講演要旨執筆要領はホームページに掲載します。
4. ポスター発表のプログラム編成は実行委員会に一任願います。

発表申込締切 7月5日（金）

発表要旨締切 8月30日（金）

研究発表申込先 高分子分析研究懇談会ホームページ（<https://pacd.jp/>）

その他 発表者は第29回高分子分析討論会の参加登録もお願いいたします。

参加費 予約登録（10月11日締切）一般：10,000円、学生：2,000円

当日登録（10月12日以降）一般：14,000円、学生：3,000円

問合先 〒572-8530 大阪府寝屋川市初町18-8 大阪電気通信大学工学部 基礎理工学科 森田成昭〔電話：072-824-1131（呼）、E-mail：pacd-touron@pacd.jp〕

第29回高分子分析討論会 （高分子の分析及びキャラクターゼーション）

—研究発表募集—

主催（公社）日本分析化学会高分子分析研究懇談会

高分子分析・特性解析全般に関する討論です。高分子分析は物性発現機構を解明し、構造設計の指針を得る基盤であり、その重要な認識は高まっています。高分子分析・キャラクターゼーションを対象とした本討論会の内容は、化学的手法、分光学的手法、各種クロマトグラフ法、熱分析法などによる組成、分子構造、高次構造、構造と物性の相関、物性発現機構、重合機構等の解析に関する基本原理、手法開発、解析実例などに及びます。

発表形式討論を重視するため、発表はすべてポスター発表のみとし、これに先立って2分半の口頭による概要説明を行います。このほかに特別講演を予定しています。優秀なポスターへの表彰を予定しております。

期日 2024年10月31日（木）・11月1日（金）

会場 ウィンクあいち〔愛知県名古屋市中村区名駅4-4-38、

交通：JR「名古屋」駅桜通口徒歩5分〕

<https://www.winc-aichi.jp/>

研究発表会申込方法

1. 発表内容には既発表のものを含んでも構いません。また、新しい試みであれば、研究途中のものでも差し支えありません。

—以下の各件は本会が共催・協賛・
後援等をする行事です—

◎詳細は主催者のホームページ等でご確認ください。

24-1 NMR 研究会 ケモインフォマティクス入門

主催 高分子学会 NMR 研究会
期日 2024年5月10日(金)
会場 新大阪丸ビル別館4階4-1号室
ホームページ

<https://member.spsj.or.jp/event/index.php?id=572>
連絡先 104-0042 東京都中央区入船3-10-9 新富町ビル6
階 (公社)高分子学会事業課 石津光暉
〔電話:03-5540-3770, E-mail:resg2@spsj.or.jp〕

第251・252回西山記念技術講座 「今後激変することが予想される鉄源の確保に向けて」

主催 (一社)日本鉄鋼協会
期日 第251回:2024年5月24日(金)(大阪/対面開催),
第252回:2024年5月31日(金)(東京/ハイブリッド開
催)
会場 第251回:CIVI研修センター新大阪東7階E705会議
室, 第252回:鉄鋼会館会議室
ホームページ

<https://www.isij.or.jp/event/index.html>
連絡先 (一社)日本鉄鋼協会 育成グループ〔電話:03-3669-
5933, E-mail:educact@isij.or.jp〕

界面コロイドラーニング 第40回現代コロイド・界面化学基礎講座 東京会場

主催 日本化学会コロイドおよび界面化学部会
期日 2024年6月13日(木)・14日(金)
会場 同志社大学東京オフィス
ホームページ
<https://colloid.csj.jp/202403/learning-40th-tokyo/>
連絡先 第40回現代コロイド・界面化学基礎講座 事務局
〔E-mail:jigyoukikaku_01@colloid.csj.jp〕

界面コロイドラーニング 第40回現代コロイド・界面化学基礎講座 大阪会場

主催 日本化学会コロイドおよび界面化学部会
期日 2024年6月27日(木)・28日(金)
会場 大阪産業創造館
ホームページ
<https://colloid.csj.jp/202403/learning-40th-osaka/>
連絡先 第40回現代コロイド・界面化学基礎講座 事務局
〔E-mail:jigyoukikaku_01@colloid.csj.jp〕

第6回使えるセンサ・シンポジウム2024 (同時開催:第6回使えるセンサ&計測展2024)

主催 (一社)センサイト協議会使えるセンサ・シンポジウム
実行委員会
期日 2024年7月17日(水)・18日(木)
会場 マイドームおおさか
ホームページ <http://sensait.jp/stc/symposium/>
連絡先 162-0814 東京都新宿区新小川町5-5 オプトロニ
クス社気付 STC2024 運営事務局
〔電話:03-3269-3550, FAX:03-5229-7253〕

(一社)日本結晶学会講習会「粉末X線解析の実際」

主催 (一社)日本結晶学会
期日 2024年7月25日(木)・26日(金)
会場 東京工業大学大岡山キャンパス西9号館
ホームページ <http://analytsci.org/xrd2024/>
連絡先 162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミー
センター 日本結晶学会講習会ヘルプデスク 青木友理恵
〔E-mail:crsj-xray@conf.bunken.co.jp〕

24-1 高分子学会講演会 主題=バイオプラスチックの最前線

主催 (公社)高分子学会行事委員会
期日 2024年7月30日(火)
会場 オンライン開催
ホームページ <https://member.spsj.or.jp/event/>
連絡先 104-0042 東京都中央区入船3-10-9 新富町ビル
(公社)高分子学会 24-1 高分子学会講演会係
〔電話:03-5540-3771, FAX:03-5540-3737〕

第36回バイオメディカル分析科学シンポジウム —創薬と医療を支える分析化学—

主催 日本薬学会物理系薬学部会
期日 2024年8月28日(水)・29日(木)
会場 静岡県コンベンションアーツセンター(グランシップ)
ホームページ <https://sites.google.com/view/bmas2024/>
連絡先 422-8526 静岡県静岡市駿河区谷田52-1 静岡県立
大学薬学部 生体機能分子分析学分野 轟木堅一郎
〔電話:054-264-5656, E-mail:bmas2024shizuoka@gmail.
com〕

第3回標準化セミナー —微小粒子の破壊・変形強度の 測定方法とその応用展開—

主催 (一社)日本粉体工業技術協会
期日 2024年9月10日(火)
会場 ウィンクあいち(愛知県産業労働センター)
ホームページ [https://appie.or.jp/イベント/第3回標準化1
セミナー/](https://appie.or.jp/イベント/第3回標準化1セミナー/)

連絡先 113-0033 東京都文京区本郷 2-16-11 種苗会館 5
階 (一社)日本粉体工業技術協会東京事務所
〔電話：03-3815-3955, E-mail：standardization@appie.or.jp〕

第 40 回シクロデキストリンシンポジウム

主催 シクロデキストリン学会
期日 2024 年 9 月 19 日 (木)・20 日 (金)
会場 東京大学駒場キャンパス 21 KOMCEE West
ホームページ
<http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/terao/CD40/>
連絡先 〒153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1 東京大学大
学院総合文化研究科広域科学専攻 寺尾研究室
〔電話：03-5454-6727, E-mail：ctaki@g.ecc.u-tokyo.ac.jp〕

第 60 回熱測定討論会

主催 日本熱測定学会
期日 2024 年 9 月 26 日 (木)~28 日 (土)
会場 京都府立京都市・歴史館
ホームページ
<https://www.netsu.org/60touron/index.html>
連絡先 103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 2-15-9 須
磨マンション 901 日本熱測定学会事務局 土信田裕子
〔電話：03-6310-6831, E-mail：netsu@mbd.nifty.com〕

第 253・254 回西山記念技術講座

「最新シミュレーション技術の進歩と鉄鋼業への展開」

主催 (一社)日本鉄鋼協会
期日 第 253 回：2024 年 10 月 16 日 (水) (大阪/対面開催)、
第 254 回：2024 年 10 月 30 日 (水) (東京/ハイブリッド開
催)
会場 第 253 回：CIVI 研修センター新大阪東 7 階 E705 会議
室、第 254 回：鉄鋼会館会議室
ホームページ
<https://www.isij.or.jp/event/index.html>
連絡先 (一社)日本鉄鋼協会 育成グループ
〔電話：03-3669-5933, E-mail：educact@isij.or.jp〕

第 75 回白石記念講座

「データ駆動型材料開発の最前線とその適用例」

主催 (一社)日本鉄鋼協会
期日 2024 年 11 月 21 日 (木)
会場 鉄鋼会館会議室
ホームページ
<https://www.isij.or.jp/event/index.html>
連絡先 (一社)日本鉄鋼協会 育成グループ
〔電話：03-3669-5933, E-mail：educact@isij.or.jp〕

「分析化学討論会」特集の論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」誌では、毎年第 12 号に分析化学討論会特集号として、分析化学討論会の討論主題に関連した論文を掲載しております。第 84 回分析化学討論会では、「文化財をはかる、なおす、まもる分析化学」、「環境調和・資源循環型社会の創生と分析化学」、「ものづくりを支える分析化学」、「宇宙と分析化学」、「生命の活動を知る分析化学」の 5 テーマを討論主題として取り上げました。

近年の大きな話題として、2022 年 11 月の ChatGPT 公開が挙げられ、その後も、急激な速度で生成 AI 技術が進化しています。生成 AI は、既存のビッグデータを学習することで、新たな知見を加速度的に生み出しており、一部の領域ではすでに人間の能力を超えています。一方で、測る技術である分析化学によって、新規データの取得や生成 AI データの検証なども可能であり、生成 AI と分析化学は相補的な関係とも捉えることができます。また、分析化学は、文化財・環境・モノづくり・生命・宇宙などの幅広い分野に関連しており、これからの社会を変革していくために、分析化学が先頭に立ってその役割を果たしていくことが強く求められています。

そこで、2024 年度の分析化学討論会特集号では、生成 AI と一緒に考え、5 つの討論主題を「フロンティアとしての分析化学：文化財から宇宙まで」としてテーマにしました。本テーマにおいて、第 84 回分析化学討論会で設けた 5 つの討論主題に関する論文を広く募集します。多数のご投稿をお待ちしております。詳細は「分析化学」73 巻 4・5 号及びホームページをご覧ください。

特集論文の申込締切：2024 年 7 月 12 日 (金)

特集論文の原稿締切：2024 年 8 月 9 日 (金)

「分析化学」年間特集“環”論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」では、2010 年より「年間特集」を企画し、設定テーマに関連する論文を年間を通じて募集・掲載しています。2025 年は「環」をテーマとすることと致しました。

分析化学において「環」は、様々なスケールでの意味を持ちます。たとえば“環境”や“循環”のような大きなスケール、あるいは、多環芳香族炭化水素 (PAHs) などの“環式化合物”という小さなスケールです。いずれにおいても、分析化学は重要な役割を果たしています。

本特集では「環」をキーワードとして、基礎・応用を含めた分析化学の“最新の知見”はもちろん、総合論文や分析化学総説といった形で現在の分析化学の“研究の背景”についても広く募集し、分析化学が担う役割を社会に向けて発信することを目的としています。本特集にかかわる論文はすべての論文種目で年間を通じてご投稿いただくことが可能で、審査を通過した論文は、単行の特集号を除く「分析化学」第 74 巻 (2025 年) 合併号の冒頭に掲載する予定です。国内外、産学官を問わず、「環」にかかわる分析化学の研究・開発に従事されている多くの皆様方からの投稿をお待ちしておりますので、是非この機会をご活用ください。なお、詳細は「分析化学」誌の 6 号及びホームページをご参照ください。

特集論文申込締切：2024 年 7 月 21 日 (金) (第 1 期)

特集論文原稿締切：2024 年 8 月 18 日 (金) (第 1 期)